

森の
田の
思い

12月定例会報告

埼玉県議会12月定例会が、
12月1日(水)から12月22日(水)まで
行われました。主な質疑を紹介いたします。

森田はこう考える!

都市部の緑化というとすぐに「土地がない」という話になります。しかし、土地は工夫次第で緑地になります。駐車場を一部削ったり、サツキの植え込みを中心高木にしたり。植栽に階層構造を取り入れ、緑の質を高めることも重要です。

森田はこう考える!

発達障害は特別なことではなく、どんな親でも直面する可能性があります。いざという時に頼れる学校にしていくことは多くの親子に救いをもたらします。補うべきところは補い、伸ばすべき特性を伸ばしていく。これから日本に必要な要素です。

都市部のみどりを保全していくための県の役割、都市部におけるみどりの創出の取組について伺う。

(環境部長答弁要旨)

2 都市部におけるみどりの保全・創出について

県の役割は、広域的な視点から大規模な緑地などの保全を図ることと、保全活動の支援及び普及啓発である。みどりの創出を進めてきたが、今後も様々な取組を通して、都市のみどりのより一層の創出に努めたい。

3 今求められる子育て支援策とは

4 発達障害から子どもを救う!

発達障害は特別支援学校について、人件費を含めた管理運営費はどの程度増加したか。また、施設に関する経費として、どの程度の額を支出したのか。発達障害児支援のためにどのような取組を行っているか、教育長に伺う。

(教育長答弁要旨)

臨床心理士などによる巡回相談や、特別支援学校の教員による指導方法等に関するアドバイスなど、発達障害児支援に努めている。

5 県北地域の医療体制整備について

個別所得補償の開始による米価の下落に加え、昨夏の高温障害、農家の方は不安でいっぱいです。良い米を作る環境と、それを売れる環境と、両方を支援していかなければなりません。地産地消の理念を具現化し、県産米の販売に努める必要があります。

● 来年以降の彩のかがやきについて、農家が安心して栽培、作付けができるよう県としてどのような支援、技術指導をしていくのか。

(農林部長答弁要旨)

高温に対処する技術の研究を進め、その結果については3月までに情報を提供する。また、追肥や水管理についても詳細に研究し、7月までに、各農林振興センターが技術講習会やほ場での実地説明を行うなど、農家の皆様への技術支援を行う。

● 一日保育士体験事業をしっかりと実践し続けてほしい。

(上田知事答弁要旨)

平成23年度までに全施設での実施をしたい。各園で100%参加を目指し、親の10割参加を意識して県として進めていきたい。

● 一日保育士体験事業をしっかりと実践し続けてほしい。

6 公営屋内50メートルプールの建設について

7 新たなスポーツ振興計画の策定について

重要な施設との観点に立って、検討を進めていきたい。古賀淳也選手がロンドンオリンピックで金メダルを取れば、県民各層から、国際大会可能な屋内50メートルプールの建設の要望が高まるものと思われる。勝負はその時ではないかと思う。

(上田知事答弁要旨)

県北地域の救急医療を担う深谷赤十字病院の機能強化のため、医療派遣に係わる大学への要請や小児科当直医の派遣などの取組を実施している。

(保健医療部長答弁要旨)

医療体制整備を喫緊の課題と受け止め、深谷赤十字病院の機能強化のため、医師の確保が困難になつてきたり。医師の確保が困難になつてきました。医師の勤務環境を改善し、また医療機関同士の連携を密にして救急医療の空洞化を避けなければなりません。

● 地域医療の現状や行政の取組を十分に理解し、地域住民が一体となつて医療を支えていくことが大変重要であると考えるが、保健医療部長の見解を伺う。

8 森田の地域に根ざす活動記録



詳しいやり取りは、県議会のホームページをご参照ください。録画をご覧いただけます。http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai

モリモリアレス

モリモリアレス